

第7回小金井市児童発達支援センター運営協議会 次第

日時：令和5年11月9日（木）午前10時から

場所：小金井市役所本庁舎3階 第1会議室

- 1 開会
- 2 報告事項
 - (1) 令和5年10月までの実績報告について
 - (2) 親子通園事業について
 - (3) 令和5年度講演会・研修会の実施状況
 - (4) 次年度の利用者募集について
- 3 運営協議会委員による業務評価について
- 4 その他
- 5 閉会

■配布資料

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| 資料1 | 児童発達支援センター運営協議会への実績報告（令和5年10月） |
| 資料2 | きらりの親子通園事業 |
| 資料3 | 令和5年度講演会・研修会の実施状況 (きらきらレポートNo.11) |
| 資料4 | 次年度の利用者募集について |
| 資料5-1 | 運営協議会委員による業務評価について |
| 資料5-2 | 令和5年度利用者アンケート（案） |
| 参考配布1 | 令和5年度運営協議会開催日程について |
| 参考配布2 | 第6回運営協議会 意見・提案シート |

児童発達支援センター運営協議会への実績報告

令和5年10月31日現在

| | 令和5年 | | | | | | | | | 令和6年 | | | 合計 |
|---------------------|------|-----|------|------|------|------|------|-----|-----|------|----|----|------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| ①相談支援事業（一般） | 16件 | 21件 | 25件 | 13件 | 16件 | 16件 | 17件 | | | | | | 124件 |
| ②相談支援事業（専門） | 44件 | 99件 | 91件 | 109件 | 112件 | 100件 | 107件 | | | | | | 662件 |
| ③相談支援事業（ ㊦ ） | 85件 | 90件 | 103件 | 85件 | 88件 | 81件 | 92件 | | | | | | 624件 |

| | 令和5年 | | | | | | | | | 令和6年 | | | 合計 |
|-------------|---------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|------|----|----|--------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| ④児童発達支援事業 | 21人 | 21人 | 21人 | 21人 | 21人 | 21人 | 21人 | | | | | | - |
| ⑤放課後等デイサービス | 50人 | 50人 | 50人 | 50人 | 50人 | 50人 | 49人 | | | | | | - |
| ⑥保育所等訪問支援事業 | 1人 | 3人 | 4人 | 4人 | 4人 | 4人 | 4人 | | | | | | - |
| 回数 | 0回 | 2回 | 5回 | 6回 | 3回 | 5回 | 6回 | | | | | | 27回 |
| ⑦親子通園事業 | 8人 | 12人 | 12人 | 16人 | 17人 | 24人 | 25人 | | | | | | - |
| 回数 | 3回 | 6回 | 5回 | 8回 | 6回 | 10回 | 10回 | | | | | | 48回 |
| ⑧外来訓練事業 | 147人 | 147人 | 147人 | 150人 | 150人 | 149人 | 149人 | | | | | | - |
| 回数 | 317回 | 268回 | 330回 | 294回 | 282回 | 301回 | 269回 | | | | | | 2,061回 |
| ⑨巡回相談事業 | 0回 | 0回 | 12回 | 6回 | 0回 | 8回 | 10回 | | | | | | 36回 |
| その他 | 研修・講演会等 | | | | | | | | | | | | |

事業の報告内容について

| | |
|---------------------|--|
| ①相談支援事業（一般） | 新規の相談の方が対象 |
| ②相談支援事業（専門） | 継続相談の方が対象。計画相談等も含まれる。 |
| ③相談支援事業（ ㊦ ） | 相談者、関係機関等との電話での相談。一般相談予約数を含む。専門相談予約数は含まない。 |
| ④児童発達支援事業 | 登録者数 |
| ⑤放課後等デイサービス | 登録者数 |
| ⑥保育所等訪問支援事業 | 登録者数及び実施延べ回数（人数） |
| ⑦親子通園事業 | 登録者数及びグループの実施回数（1グループ1回とカウント） |
| ⑧外来訓練事業 | 登録者数及び実施延べ回数（人数） |
| ⑨巡回相談事業 | 巡回訪問実施回数（きらきらサポート）、学童巡回相談 |

きらりの親子通園事業

◆クラス・人数（2023年11月現在）

1歳児（月1回） みかん・ゆず 各1クラス 12組利用中

2歳児（月1～2回）いちご・めろん 各2クラス（1クラス増設可能） 16組利用中

*職員2名（心理士・言語聴覚士・作業療法士が担当）

*保護者の方とのお話を含み、1時間30分程度

◆活動内容・ねらい（2歳児の支援計画より）

| 課題 | ねらい |
|---------------------------|---|
| ★自由あそび ★設定おもちゃ | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭とは違うおもちゃを通して、遊びや手指の操作活動のレパートリーを広げる。 ・集団の場に慣れる。お友達への関心を高める。おもちゃの共有に慣れる。 ・お仕度やお片付け、切り上げや場面の切り替えに対応する経験を積む。 |
| ★身体あそび ★スキンシップあそび | <ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせておうちの人と一緒に身体を動かし、ふれあいを楽しむ。 ・自分の身体の動きやペースをコントロールする。 ・大人と手をつないで歩く ・身体に触れられることでボディイメージを高める、模倣力を育てる。 ・お友達と一緒に動くことを楽しむ。 |
| ★集会 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎回繰り返される活動の流れを予測したり、活動の始めと終わりを意識する。 ・着席して待つ力・ペープサートやパネルシアターなど見る力・聞く力を養う。 ・呼名に返事をしたり、好きな物の要求や選択を伝えられる。 |
| 運動あそび | <ul style="list-style-type: none"> ・大型遊具やテーマを持った素材を通して、ダイナミックな運動遊びや感覚遊びを楽しむ。 ・運動遊びを通して、身体の動かし方やバランス力・ペースコントロール力を養う。 ・サーキットなど、一定の流れや方向がある課題がわかる。 ・順番を待つ力を養う。 |
| 課題あそび | <ul style="list-style-type: none"> ・着席して行う活動や「課題」を経験する。 ・様々な道具の操作や表現することを楽しむ。 ・目の前の物に、注目し続ける力を養う。 |
| ★お子さんのようす について ★連絡帳 | <ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの個性や発達の特徴について理解を深める。 ・生活の困りや、よりよい対応の方法を担当と話し合い、家庭や日常で実践してみる。 |

★は毎回実施

令和5(2023)年度講演会・研修会予定・実施状況

令和5(2023)年11月1日現在

| 対象 | 日程 | 内容 | 講師 | 対象・参加(見込) |
|----------------------|----------------------------|---|---|---|
| 一般市民向け 講演会 | 9月12日 ※オンライン (ライブ配信) | 発達や特性にあったくらし方・学び方を ICTで広げよう | 森脇 愛子 先生 青山学院大学 | <u>計27名参加</u> 市内在住・在勤・在学 |
| | 12月1日～14日 ※オンライン(録画配信) | 運動発達を促す環境と親子の関わり | 中山 雅和 きらり 理学療法士 社会医学技術学院 | 市内在住・在勤・在学 |
| 支援者向け 研修 | 7月19日 ※対面 | 小金井特別支援学校における 理解推進授業の取り組み | 新井 直子 先生 都立小金井特別支援学校 特別支援教育コーディネーター | <u>計44名参加</u> 保育園・幼稚園・子ども園等 26名 学校・学童保育 6名 発達支援・福祉関係機関 8名 その他の関係機関 4名 |
| | 8月18日～31日 ※オンライン(録画配信) | 発達や子どもの気持ちに合わせた 着替えの支援 | 宇佐見 翠 きらり 児童発達支援管理責任者 | <u>計65名申込</u> 保育園・幼稚園・子ども園等 54名 学校、学童保育 5名 発達支援・福祉関係機関 3名 その他の関係機関 3名 |
| 関係機関 きらり保護者 向け | 10月発行 | 紙面講座「きらきらレポート」 No.11 療育ってなに? ～きらりでの取り組みを中心に～ | | きらり利用者 250名 保育園・幼稚園・子ども園等 70カ所 学校、学童保育 26カ所 発達支援・福祉関係機関 36カ所 その他の関係機関 7カ所 |

| 対象 | 日程 | 内容 | 講師 | 対象・参加(見込) |
|---------------------|----------------------------------|--|--------------------|--|
| きらり 保護者向け 学習会 | 情報提供 | ◎「就学相談等説明会(5/15)」案内 ◎就学相談の流れ・就学支援シート等紹介 | | 全事業 年長・年中児保護者に配布、掲示にて案内 |
| | 9月28日(木) ※対面 | ペアレントトレーニングってなに？ | 岡野 典子 きらり 臨床心理士 | 計9名参加 きらり保護者 (相談・外来訓練・通園・放課後等デイサービス) |
| | 11月14日(火) 11月28日(火) ※対面 | きらりの運動遊び ～作業療法士の視点から～ | 櫻井 佐和 きらり 作業療法士 | 児童発達支援(通園) 保護者 |
| | 前期:4月～7月 後期:9月～12月 ※対面 | ペアレントトレーニング(幼児) 6回+フォローアップ1回 | きらり 臨床心理士 | 相談・外来訓練 (年中・年長)保護者 前期: <u>6名にて実施</u> 後期:6名にて実施中 |
| | 前期:4月～7月 後期:9月～12月 ※対面 | ペアレントトレーニング(学齢) 6回+フォローアップ1回 | きらり 臨床心理士 | 相談・放課後等デイサービス 保護者 前期: <u>5名にて実施</u> 後期:6名にて実施中 |
| | 7/8(土)・2/8(木)・ 2/15(木) ※対面 | ペアレントトレーニング おひさしぶりフォローアップ会 | きらり 臨床心理士 | 平成28(2016)～令和3(2021)年度に 受講した保護者 7/8(土): <u>5名にて実施</u> 2/8(木):5名予定 2/15(木):6名予定 |

支援者向け研修「発達や子どもの気持ちに合わせた着替えの支援」 アンケートより

＜問 印象に残ったキーワードを1つ教えてください＞ についての回答 【数】は複数回答の数

- ・写真カード
 - ・手添え
 - ・タイミング / タイミングを逃さない 【2】
 - ・声かけの工夫 【3】
 - ・環境設定
 - ・困り事に気づき手助けする
 - ・子どもが今、どこまでできるかを把握すること
 - ・着脱の段階を把握する 【4】
 - ・自信をつける
 - ・子どもの自信へ繋げるためには、大人の工夫が必要
 - ・大人側の工夫
 - ・少し上の目標
 - ・大人がどれだけ手伝っているかを把握する事が大切 【2】
 - ・大人がやらせることにこだわると、子どもはやらないことにこだわる
 - ・大人が着替えさせることにこだわると子どもたちは着替えないことにこだわる 【3】
 - ・大人に手伝ってと言えるようになるための支援
 - ・手伝ってと言う練習 / 手伝ってと言える段階 / 手伝ってのタイミングを逃さない
 - ・お手伝いのサイン
 - ・わーっとなる前に、手伝ってだったね、と声をかける大切さ
 - ・相手に何かを伝えることは大切なコミュニケーションの始まり。
 - ・着替えに気持ちが向かないときできる工夫
 - ・物には名称があることを伝える / 物には名前がある（写真だけのカードに名前を貼ろうと思いました）
 - ・目標はたくさん立てず1つか2つにする
 - ・目標までに必要な工夫や手順を考える
 - ・キーワードと言うか 今 担当の子どもがどの段階にいるのか？冷静に判断してどんな声掛けや導き方が必要なのか参考になりました。
 - ・大人がどれだけ手伝っているか把握をすることが大切。
- (つい子供主体で物事を見るが大人の立場からも見直すことが大切だと改めて感じた。)

次年度の利用者募集について

- ◆ 令和6（2024）年度の定期的な利用（児童発達支援：通園、放課後等デイサービス、外来訓練、親子通園）に関して、11月1日～11月30日に利用申請書の受付を行っている。保育所等訪問支援については、支援の特性から、利用についての相談があった場合、支援内容や手続きを説明した上で、随時希望を受け付けることとしている。
- ◆ 利用者募集に関しては、市報およびホームページと SNS（公式 X）での周知の他、きらり館内への掲示、現利用者への申請書類の配布を行っている。
- ◆ 相談を経てから利用申請を受け付けている。これまでに相談を受けたことがない方については新規の相談を、今年度利用のない方には専門相談を行っている。

5

5・10・1

市報 **こがねい**
**児童発達支援センター
「きらり」利用者募集**

令和6年度の各事業の利用者を募集します。

■募集期間11月1日（水）～30日（木）**他**利用申請にあたっては、事前に相談が必要です。10月中をめどに電話で予約してください※今年度、相談をしている方および現在同センターを利用している方は相談の必要はありません**申**直接、同センター（☎0422-60-1550）へ

令和5年度 運営協議会委員による業務評価について

1 業務評価について

業務評価とは、運営協議会委員の皆様がきらりの各事業（児童発達支援・放課後等デイサービス・外来訓練・親子通園）を評価するもの。

毎年度実施しており、年度末には評価を取りまとめて成果物として発表。

2 評価方法

| 年度 | 視察 | アンケート | 第三者評価 | 見学 |
|-------|----|-------|-------|----|
| 令和2年度 | | ○ | ○ | |
| 令和3年度 | | ○ | ○ | ○ |
| 令和4年度 | | ○ | ○ | ○ |

(1) 視察

児童発達支援センターきらりが行っている各事業（児童発達支援・放課後等デイサービス・外来訓練・親子通園）を本協議会委員が実際に現場に赴いて事業を評価

(2) アンケート

外来訓練・親子通園について、利用者にアンケートを実施

(3) 第三者評価

児童発達支援センターきらりの受託者である社会福祉法人雲柱社が実施する東京都福祉サービス第三者評価の結果を活用（児童発達支援・放課後等デイサービスが対象）。

※第三者評価とは、福祉サービスを提供する事業者のサービスの質について、公正・中立な第三者評価機関が、専門的かつ客観的立場から評価を行う仕組みで、第三者の目から見た評価結果を幅広く利用者や事業者に公表することにより、利用者に対する情報提供を行うとともに、サービスの質の向上に向けた事業者の取組を促すことで、利用者本位の福祉の実現を目指すものです。

(4) 見学

児童発達支援センターきらりへ訪問し各事業の概要説明や施設の見学を行う。

3 今年度の実施方法

令和4年度と同内容

「きらり」を利用する保護者様

令和5年度「きらり」の利用に関するアンケートについて（案）

電子フォーム
のQRコード
を貼付（仮）

日頃より市政にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

本市では、きらりの業務内容について検証・検討を行い、サービスの向上に繋げるため、利用に関するアンケートを実施しております。ご多用中、大変恐縮ではございますが、ご協力いただける方は本アンケート用紙または上記QRコードより電子フォームでのご回答をお願いいたします（※匿名回答）。

なお、ご記入いただいた内容については、きらりの業務内容について検証・検討を行う小金井市児童発達支援センター運営協議会に報告するとともに、当該協議会が発行する報告書内に掲載され、市ホームページ等にて公表することとなりますのでご承知おきください。

記

Q1：ご利用の事業を以下から1つお選びください。

- 外来訓練事業 親子通園事業

Q2：提供しているサービス内容についてどのように感じていますか？

- 大変満足である 概ね満足である どちらとも言えない
 やや不満である 不満である

理由をご記入いただける方はお願いします。

Q3：運営事業者についてお聞きします。現在市がきらりの事業を委託している運営事業者（社会福祉法人雲柱社）についてどのように感じていますか？

- 大変満足である 概ね満足である どちらとも言えない
 やや不満である 不満である 特にない

理由をご記入いただける方はお願いします。

（裏面に続きます）

Q4：現在利用している事業において今後実施して欲しい療育内容、サービス等がありますか？

※ある方のご記入をお願いします。ない方は次の設問をお願いします。

Q5：自由意見（ご自由に意見要望等をご記入ください。）

以上となります。ご協力ありがとうございました。

【提出期限】令和5年12月28日（木）

【用紙による提出先】「きらり」受付

本アンケートに関する問合せ先

小金井市福祉保健部自立生活支援課 加藤

TEL：042-387-9848（直通） FAX：042-384-2524